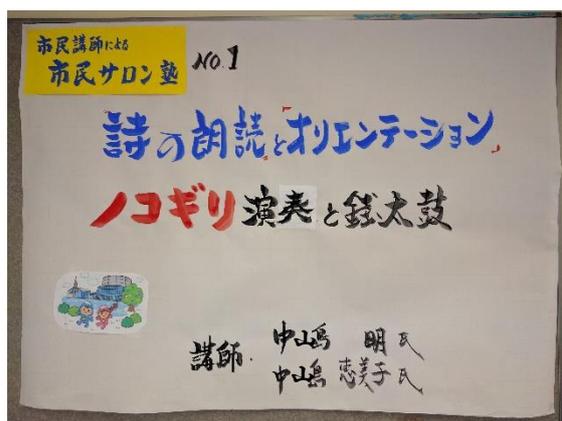


市民サロン塾 第1回 平成28年6月6日(月) 13:30~15:30

「詩の朗読と交流会オリエンテーション」

* /コギリ演奏と銭太鼓 ♪♪

講師:中嶋 明 氏・中嶋 恵美子氏



第一回目のサロン塾は23名の参加を得て、大変楽しい講座となりました。

三上監事の司会で始まり、「玉すだれ」をハッピー姿であでやかに舞われ、盛り上がりました。

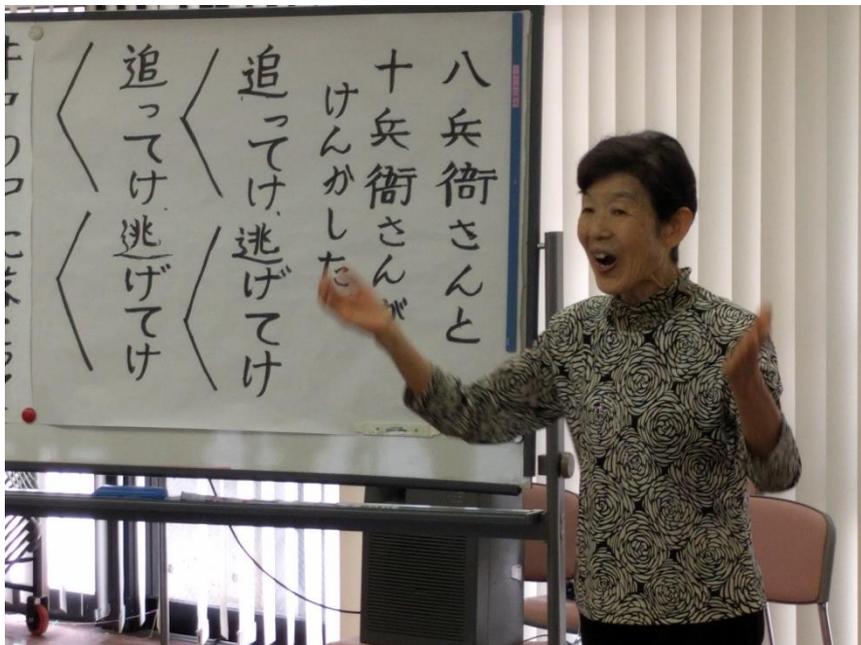
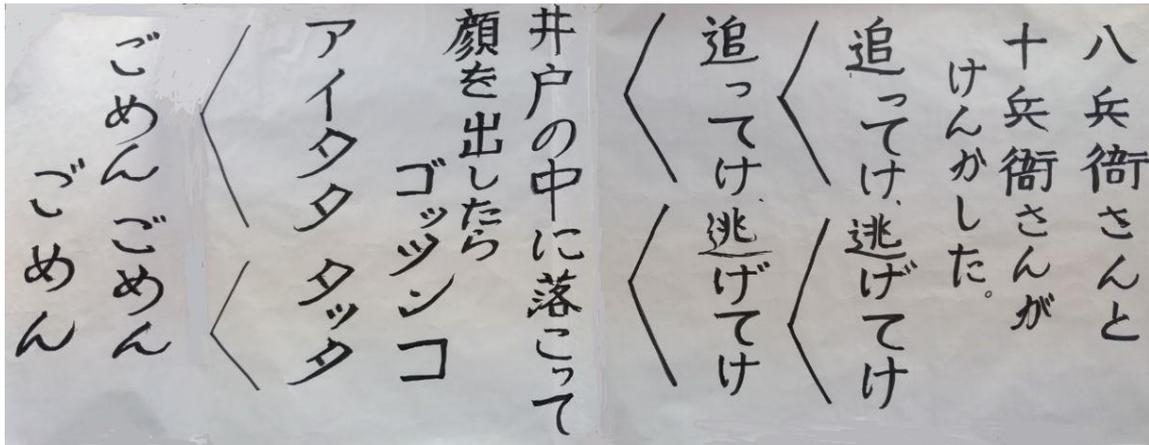
「南京玉すだれ」 口上は

アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては 南京 玉すだれ。チョイト 伸ばせば、浦島太郎さんの、魚(うお)釣り竿に チョイト 似たり。浦島太郎さんの、魚(うお)釣り竿が お目に 止まれば おなぐさみ、お目に 止まれば 元へと返す。

.....

次は

○恵美子講師が子供達との集まりなどで遊べる「八兵衛さん」を教えてもらい、指の動作の見本を見せていただき、そのあと講師に続いて受講生も全員で声をだして、指を動かしましたが、動作をだんだん早くしていくのですが、指がついていかずなかなか難しかったです。



”八兵衛さんでは”
 手の指を八の字にして、”十兵衛さん”がでクロスして十をつくり、右手と左手の人差し指でけんかさせ、左手の親指と人差し指で作った井戸に右手の人差し指を上から落とし、今後は下から上に出し、頭がぶつかって、両手を頭に添えて”あいたたた”は！・・・さいごは右手と左手の人差し指を向かい合わせて指をまげて”ごめんごめん”となります。

あやまることの大切さを教えるための遊戯でした。



○のこぎり演奏では参加者全員で「見上げてごらん夜の星を」「手のひらに太陽を」「夕焼け

小焼「ふるさと」の4曲を歌いました。受講生のお二人が前に出てとても盛り上げてくださり、合唱が楽しい歌声になりました。

○詩の朗読「花水木の道」これは東日本震災の3.11で息子さんを亡くした母の気持ちをつづった詩の朗読（時折のこぎり演奏も入り）当時を思い出されてしまいました。

（詩の書いたものを用意すればなお良かったかなと思いました）

おかあさん
おねがい
ぼくが大すきだった
ハナミズキの木を
たくさん
たくさん
植えてね
津波がきたとき
みんなが
安全なところへ
にげる目じるしに
ハナミズキの道を
作ってね



あの日、二十五才の息子さんをなくされ
眠れない夜を過ごしていた浅沼ミキ子さん
ある日息子さんが夢枕に立ちました
泣いてばかりいたミキ子さんは息子さんの声に
あと押しされ「花みずきの道を作る会」を
結成し、現在は市と共同して作業を進め
完成を目指します

休憩後一

錢太鼓（5円玉が12個入った赤白の小さな棒）です。これは岡山県の民舞で天童よしみ「みんなの桜」の曲に乗せて舞い、落とした時は、皆様の「厄落とし」と笑いをとりました。ひょっこりおどり（面は三春のもの）も待って下さりあつという間の1時間40分の楽しい時間でした。



オリエンテーションは講座スタッフの紹介に始まり、受講生全員がお話ししてくださりました。

「心豊かに癒され家に帰れます」「とても楽しく良かった」等の多くの声を聴くことができました。

中嶋さまご夫婦の素敵な関係を築かれていられる仲の良い姿にとってもほっこりしました。ありがとうございました。

スタッフ一同、受講生に喜んで頂き、ほんと安堵しました。